

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームいずみ

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

河野 勝子

評価完了日

平成 19 年 7 月 12 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月24日

【評価実施概要】

事業所番号	3873900769		
法人名	有限会社 ケアサポートいずみ		
事業所名	グループホームいずみ		
所在地	北宇和郡鬼北町大字永野市9番地1 (電話) 0895-45-2171		
管理者	河野 勝子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月7日	評価確定日	平成19年9月24日

【情報提供票より】 (平成19年7月12日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤	5人, 非常勤 6人, 常勤換算 5.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800円		
(3)利用者の概要 (平成19年7月12日現在)			
利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	2名	要介護2	1名
要介護3	4名	要介護4	0名
要介護5	1名	要支援2	1名
年齢	平均 80歳	最低 72歳	最高 94歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>利用者は、ご本人のペースで起床され朝食を摂っておられる。パン、ご飯、おかゆと主食を選ぶことができるようになっており、ご自分でパンを焼き冷蔵庫からジャムを出しココアを入れて、食事をされている方もおられた。</p> <p>仲良しの方向士での入浴やお一人で入浴をしたいと希望される方もおられ、職員は、個々の希望等を踏まえて、個々がつろいで入浴できるよう支援しておられる。</p> <p>消防署の方から車椅子の方を一人で避難させる方法を教えていただいたり、利用者と共に、消火器を使って消火訓練が行われた。ウッドデッキからの避難が難しかったという職員からの意見もあり、改善をされた。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果について改善計画を作成し、たとえば、来訪の少ない目のご家族に、ご本人の様子等を手紙や電話で知らせる等の取り組みを始められた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・全職員で自己評価に取り組み、日々のケアを振り返り、地域の他の事業所との交流や研修の大切さに気付かれていた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・運営推進会議では、利用者の状況やサービスについて説明をされた。又、災害時の協力や老人クラブの方と交流ができるようお願いをされた。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・2~3ヶ月に一回、家族会を開催されている。ご家族から出されたご意見については、事業所から説明をされている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・敬老会、地方祭、花火大会等に参加されており、事業所で開催されるミニ運動会には地域行事地域の方が参加されている。散歩や買い物の際に利用者の知人に会うこともあり、時に事業所に遊びに来てくれることもある。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			職員と利用者が共に住み慣れた地域で安心して生活ができるようにと作り上げた		
			(外部評価)		
			理念は、開設時に職員で意見を出し合い「笑顔あふれるやさしい気持ちで共に生活しましょう」と掲げておられた。		今後、事業所では、地域密着型サービス事業所の理念について考えていくことを検討されていた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々理念に基づき、関わりの振り返りをしながら取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			玄関に理念を掲示し、ミーティングや申し送り時等、職員が、利用者とのかわりを振り返る機会に、理念について確認するようにされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族や来訪者、推進会議等、また老人クラブ会合に出席時、説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩や買物等の外出時、近隣の方と気軽にあいさつや話をしている。畑の作物をいただいたり、梅、山桃取り等に招待されている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 敬老会に参加したり、地方祭・花火大会・農業祭・もちまき等、地域の行事に参加。友人・知人との交流に努めている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 職員の友人・知人で、在宅にて介護している方、独居の方々に施設訪問・見学に声掛けし、来訪時には利用者と共に話し合い、理解してもらっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 各自、全職員が自己評価表に基づき記入し、勤務日職員同士で検討したり、お互いに意見の交換を行い、質の向上・改善に努めている。		
		(外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、日々のケアを振り返り、地域の他の事業所との交流や研修の大切さに気付かれていた。前回の評価結果について改善計画を作成し、来訪の少な目のご家族に対して、ご本人の様子等を手紙や電話で知らせる等の取り組みを始められた。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議時に、運営・サービス内容の報告をし、それ に対しての質問・意見を参考にサービスの向上に努め ています。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では、利用者の状況やサービスについて 説明をされた。又、災害時の協力や老人クラブの方と 交流ができるようお願いをされた。		さらに、運営推進会議の取り組みを活かし事業所の質 の向上を目指した意見交換ができるよう取り組みの工夫 が期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			運営推進会議には、町担当者には必ず出席して いただき、報告・意見の交換を行う。 また、職員研修や、利用者の健康・介護保険の件で 連携を取り、サービスの向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では、介護保険について参加者にお話を いただいた。又、事業所についての相談等もされてい る。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			成年後見制度については、研修やミーティング時 勉強会を行っている。		地域福祉権利擁護事業の内容については、未勉強なの で今後積極的に研修会等に参加し、学びたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修・ミーティング等で学び、話し合い虐待に至る 危険を回避すべく取り組みを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には説明をしているが、ご家族が一番心配している重度化した時や、看取りについては、なお一層詳しく説明し、同意を得るようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見等は、申し送り時等に日々話し合い、解決に向け努力している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 来訪された時に近況報告、来訪されない方には手紙等でお知らせしている。健康状態に変化が見られた時には電話連絡をし、また2ヶ月に1回発行の“たより”も手渡したり、送付している。金銭管理は出納帳に記入し、定期的に領収書と出納簿コピーを渡している。		
			(外部評価) 事業所全体と個人のアルバムを作り、ご家族の来訪時に見ていただきながら日々の報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族には、来訪時・家族会・手紙等で問いかけ、いただいた意見については、ミーティング等で話し合いをし、改善するようにしている。		
			(外部評価) 2～3ヶ月に1回、家族会を開催されている。ご家族から出されたご意見については、事業所から説明をされている。		今後も、利用者の暮らしについて、ご家族が意見や要望をさらに出しやすいような工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者・管理者は、職員の意見・要望を聞いているが、本音の部分は言い難く十分に把握できていないと思う。		職員が“かやの外”状態にならによ、全員の意見・要望を広く聞くよう取り組みたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の日々の生活に支障のないよう、ローテーションを組んでいる。職員の急病、急な休み時にも、柔軟に交代できる体制になっている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者、ご家族への信頼関係を築くためにも、馴染みの職員を考えている。離職がやむを得ない場合も引き継ぎ面で最善の努力はしている。 (外部評価) 利用者個々について引き継ぎを細かく行い、職員の離職時に利用者へのダメージを最小限に抑えられるようにされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外での研修にもなるべく職員の交替で受講できるようにしている。研修後はミーティング等、報告している。 (外部評価) 県GH協議会の研修年間計画を見ながら勤務調整を行い、職員ができるだけ外部研修を受講できるよう取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>南予のグループホーム協会の研修に参加して、同伴者と交流を持ち、相互訪問の活動を通じて、サービスの質の向上に努めている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>町内の事業所に相談等をされている。</p>		<p>事業所では、町の担当者に町内のグループホームが集まるような機会を作っていただけよう働きかけておられる。今後、貴事業所のさらなる質の向上に向けたネットワーク作りが期待される。</p>
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>日常会話の中から、職員のストレスや悩みを把握するように努めている。親睦の場を作り、気分転換を図れるような機会も作っている。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>運営者も、日々利用者との会話及び各職員の勤務状況健康状態等を把握し、また職員の資格取得に向けた支援を行い、職場で活かせるようにしている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>					
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>入居までに、ご本人・ご家族の施設見学等をさせていただき、説明し、まず不安を解消すべく、よく話を伺い信頼関係が築けるよう努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者・ご家族に施設見学をしていただいた上、ご家族の現在の状況等、話を聴くよう対応している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人の思いと状況を見ながら支援につなげている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 日々の生活に早く馴染んでいただくため、安心できる雰囲気作りに全職員が努めている。		
			(外部評価) 入居前にご家族が事業所の見学に来られている。ご家族のご都合に合わせ、利用者が週末からご自宅で過ごすことができるよう支援されている。		さらに、利用者が場の雰囲気に徐々に馴染んでいけるよう、今後もご家族とも相談をしながら、工夫を重ねていかれることが期待される。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ご本人と職員は、日々共に生活しながら、教えていただいたり、色々な場面では喜怒哀楽を共有して過ごすようにしている。		
			(外部評価) 職員は、利用者から畑の野菜の育て方や収穫した野菜の調理法を教えていただいている。利用者が以前に作っておられた料理を覚えてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族との話し合いの中から、職員も家族の一員として支援するように努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族会や来訪時に、ご家族からの相談や要望をお聞きし支援している。来訪困難な方には手紙や電話で近況をお知らせしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 友人・知人が気楽に来訪していただくよう、常に声掛け等をして努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員も利用者同士の会話の中に入ったり、個性を活かして、利用者同士の関係がうまくいくように努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用が終了（死亡）されたご家族も、時には来訪されたり、また、ホーム外で出会っても今まで通り対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 日々の生活の中で、見守り・声掛けをし、把握に努めている。その人の言動や表情などから心意を推して、ご本人の希望にそえるよう努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>職員は、日々の利用者との会話を通じて、利用者に出先の希望や食べたいもの等を聞き取り、支援しておられる。</p>					<p>ご本人のこれまでの情報が得にくい方もおられる。今後も、日々の生活の中から探り、アセスメントを充実していかれることが期待される。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 日々の生活の中で、ご本人やご家族との話の中から、生活歴を把握するようにしている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりの生活の流れの中から、本人の心身の安定を図るため、援助するように努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 日々の生活の中から、職員の意見を反映し、ご本人がより良く暮らせるための介護計画の作成に活かしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の日々の状態を踏まえ、ご家族の意見を聞き取り、職員で話し合い介護計画を作成されている。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			職員の間でもかわされた情報を活かし、ご家族やご本人の希望を取り入れ、随時に見直しを行っているが、状態の変化があれば、検討・見直しも行っている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとの見直しと状態変化時、随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別のファイルを作成し、その日一日の出来事を記録し、職員の間で共有しながら、介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			ご本人やご家族の状況に応じて、通院時の送迎など、必要時に柔軟な支援を行っている。		
			(外部評価)		
			医療機関と連携を図り、ご家族と話し合って支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ご本人が安心して地域で暮せるよう、消防訓練を行う機会を設けたり、ボランティア・教育機関に協力を呼びかけて参加してもらったりしている。地域住民によるボランティアの来訪もある。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ご本人の状況や希望により、格安にマッサージ・理美容に行ってもらっている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 推進会議に地域支援センターの職員に参加してもらって、今後協力関係を築きたいと思っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 受診時通院の送迎は行っているが、頻繁に通院する時は、ご家族に同行してもらおうよう説明している。利用者に変化があれば、ご家族に電話連絡している。 (外部評価) ご家族と相談し、年1回、利用者は健康診断を受けておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医ではないが、ご家族や職員の話をしてもらい、指示や助言をもらったりしている。ご家族と相談のうえ入所前より専門病院を受診している方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、利用者の健康管理や状態の変化に応じた支援を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ご本人が入院したときに安心して過ごせるよう、職員の訪問や介助、また医師との話し合いの機会を作り、ホームで対応できる段階で早期退院できるようにもっていくよう支援している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入所時に看取り介護についての同意書をいただき、ご家族とかかりつけ病院との話し合いを行って支援している。		
			(外部評価) 医療が必要になった場合、入院となることをご家族に説明されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご本人やご家族、医師との連絡体制をとり、指示のもと重度化・終末期に向けた時支援をするようにしている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ご家族や本人・スタッフ・かかりつけ医師と話し合いケアプランや退所サマリー等を手渡すと共に、情報交換を行い移住直後は、職員が機会を作って訪問している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの気持ちを尊重し、プライバシーの対応に努めている。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者に合わせて声掛けをし、要望を言っただきできるだけ希望に添えるようにしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの行動を見守り、ケガや事故がないよう注意し声掛けをしている。</p>		
<p>(外部評価)</p>			<p>利用者は、ご本人のペースで起床され朝食を摂っておられる。パン、ご飯、おかゆと主食を選ぶことができるようになっており、ご自分でパンを焼き冷蔵庫からジャムを出しココアを入れて、食事をされている方もおられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服の着替えは本人の意思で行い、介助が必要とする人は、本人の意向を聞き支援している(見守りの上)。本人の希望する理美容等と連携をとっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 本人の好み・量・味付けに注意し、職員と一緒にいたり食事したり、利用者同士で片付けをしたり職員と共に行っている。 (外部評価) 畑で採れた野菜を利用して調理をされている。調理や盛り付け等、利用者と相談しながら行っておられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の嗜好に合わせて用意したり、作ったりと楽しめるようにしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者の動き、行動で声をかけ、トイレに誘導したり促したり、行っている。オムツを使用している方は、時間的に交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			本人の希望時に入浴したり、声掛けで利用者同士で入ったり、一人で入浴したりしている。 夏場は希望者だけシャワー浴を毎日行っている。		
			(外部評価)		
			毎日シャワーを浴びる方もおられる。又、仲良しの方同士での入浴やお一人で入浴をしたいと希望される方もおられ、職員は、個々の希望等を踏まえて、個々がくつろいで入浴できるよう支援しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。一人ひとりの状態により、休息してもらえるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			食事作りや、畑・花の手入れ、漬物作りなど、利用者の経験を活かせる場面を作っている。		
			(外部評価)		
			畑仕事や台所仕事、庭の掃除等から利用者個々の事業所での役割を見つけておられる。又、以前されていたことや趣味を日々の生活の中でも続けられるよう支援しておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ご本人が所持している人もいれば、事務所が管理している人もいて、自分で払ってもらえる方にはお金を手渡すなど工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 事業所周囲の散歩までは、ご本人の希望により見守りで行ったり、買物・ドライブなど遠くに出かけたりしている。歩行困難な方は、車椅子を利用し、戸外に連れ出している。 (外部評価) お一人で近所を散歩される方もおられる。季節のお花を見に車で出かけられることもある。職員は、何気ない会話等から外出への雰囲気作りをされている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 利用者が行きたい所があれば、四季折々に計画し、遠出をしている。その時ほぼ全職員がボランティアで支援している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者が手紙のやりとりができるよう支援している。電話は家族からかかってきた時のみ取り次いで、自室で話せるよう努めている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ご家族やご本人の馴染みの人たちが、いつでも訪ねていただけるよう、雰囲気作りに努めている。その時には湯茶を出し、場面によっては職員も会話に加わるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自覚のない身体拘束を行っていないか、日々の振り返りを行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけず、利用者が自由に出入り出来るようにしている。玄関から出入りする時は声を掛け、行き先を確認・把握し、見守りで安全面に配慮している。 (外部評価) 玄関には鍵をかけず、自由に出入りできるようにされており、事業所のお向かいにあるガソリンスタンドの方に、見守り協力をお願いをされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者と同じフロアで記録や事務作業を行っている。自室で過ごされている方には、時々声をかけに訪室している。夜間は時間を決め、訪室している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品は、利用者の目が届かない所に管理し保管している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとり予測される危険を検討し、事故防止に努めている。事故が発生した時は、報告書を作成し、今後の予防対策に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 夜勤の緊急時は、緊急通報機を設置し対応している。マニュアルを作り応急手当・初期対応の勉強を行っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年1回、消防署の協力を得て防災防火訓練を全職員と利用者と共にしている。また、運営推進委員会で協力の呼びかけをしている。 (外部評価) 消防署の方から車椅子の方を一人で避難させる方法を教えていただいたり、利用者と共に、消火器を使って消火訓練を行われた。ウッドデッキからの避難が難しかったという職員からの意見もあり、改善をされた。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 体力維持のためのリスク等、一人ひとりのリスクについて把握し、家族と話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状態を職員は把握しており、少しの気付きに対し、共有し様子観察を行ったり、バイタルチェックをして変化時の記録を残し、随時対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 薬剤情報をカルテにはさみ、職員が内容を把握できるようにしている。変更があった場合は申し送りノートや介護記録・病院ノートに記録している。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 食物繊維を多く含む食材を選んだり、適度な運動を取り入れたり自然な排便ができるよう取り組んでいる。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 口腔ケアの有無を知るためボードを作り、職員がそれを見ることで、毎食後利用者に声掛けをしている。介助が必要な方には、歯磨きの手伝いをしている。就寝時、入れ歯の洗浄も行っている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食事内容の写真を撮り、アルバムにしたり個別に食事摂取量を記録したりしている。栄養士の専門的アドバイスをもらっている。</p> <p>(外部評価) 居室には、ペットボトルに入れた、お茶やスポーツ飲料等が準備されている。又、ご家族が訪問された時には、皆でお茶を飲むようにされている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>(自己評価) インフルエンザは利用者及び家族の同意を得て、職員共に予防接種を行っている。手洗いに對し、ペーパータオルを使用。嘔吐下痢に對し、全職員が学習し、予防・対策を行っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 食材は新鮮なうちに使い切るよう心掛けている。また、冷蔵庫・冷凍庫の食材の残りの点検を頻繁に行っている。まな板・布巾等の消毒は取り決めがあり、その日に行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりに、季節感がある寄せ植えを利用者と共にを行い、玄関横に並べて育てている。腰をかけて靴がはけるよう、玄関に開閉椅子も備えている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) リビングの飾りつけなど利用者と一緒にを行い、利用者が書いた絵・習字などを展示。生活感や季節感を取り入れ過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価) 玄関脇には、利用者が寄せ植えされた鉢が飾られている。12ヶ月それぞれの季節を題材にして、施設長が作成したパッチワークのタペストリーや利用者が描いた絵が飾られていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) リビングやウッドデッキに、ベンチ・ソファを置き、仲の良い利用者同士でくつろげるスペースを作っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者の馴染みのあるタンスやテーブル、椅子など、生活スペースに合わせて配置し、過ごしやすいよう配慮している。 ただし数名は、しまい込みがあり、家族と相談のうえ持ち帰られたこともある。		
			(外部評価)		
			ご家族の写真や若いころの写真を飾っておられる方もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			利用者の自室は閉めきらず、外気温と大差がないよう細やかに温度調節をしている。 利用者の状況・要望により、扇風機やクーラーを使用している。また、廊下に空気清浄機も設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に応じ、浴室やトイレ、廊下などに手すりを設置し、安全に過ごせるよう配慮している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に応じ、自立へ促したり、手助けしたり状況に合わせて行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ウッドデッキにベンチやテーブルを置き、庭の花や畑の野菜が観賞できたり、良い気候の時にはデッキのテーブルでおやつや食事を楽しむこともある。 花見・ソーメン流し・芋たき等も行う。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	介護計画やミーティングの話し合いの中から、利用者一人ひとりの意向を掴んで、日々の支援をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	短い時間ではあるが、一緒にテレビをみたりウッドデッキを散歩したり、またベンチに座って会話をしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自室でテレビをみたり、裏の畑の草引き・散歩等、また朝食は一人ひとりのペースで過ごしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの得意分野を職員が共に支援する事により、表情が豊かになっている。日々繰り返し支援する。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ホームの敷地内は自由に出てもらっているが、戸外の時には職員が同行するようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々のバイタルチェック・表情・食事量等に注意し、変化が見られた時には、医療連携の機関に行き、医師の指導のもと支援している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買物・外出時(理美容・マッサージ含め)希望に添えるよう支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来訪された時等に、近況報告等の会話をし、要望を聴き、信頼関係を築いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	主に利用者の家族・地域の友人・知人が気軽に訪ねてくれて、他の利用者とも会話がはずむ時もある。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進委員会の方には事業内容等、理解していただき、今後委員の方の協力により、理解・応援者が増えていくと思う。 委員さんの紹介で、踊りの慰問、施設見学に来られる方もある。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりそれぞれの得意分野を生かし(料理・工芸・写真等)、工夫をこらし、利用者と喜怒哀楽を共にして働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者がその都度良し悪しを口答で言っていたりもいるし、その時の態度・表情等で満足度がわかる。なお一層のサービスの向上を図りたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	来訪時、電話等で会話の中から、また表情等で満足していただいているのではないかとと思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・利用者職員は家族の一員として、喜怒哀楽を共にして生活している。
- ・一人ひとり自由時間に、食事・入浴等をしていただいている。
- ・利用者と共に作った新鮮な野菜、地域の方に頂く四季折々の野菜・魚等を食材に使用している。